

藤井包総

ふじい・かねすけ

陸軍中将、貴族院議員、男爵、教育義会幹事

経歴

生: 嘉永3年(1850年)1月14日、福山東町生れ

没: 大正14年(1925年)12月5日、東京小石川区江戸川町26において病没、享年76歳、東京音羽護国寺に葬る

—	—	藩校誠之館に学ぶ
明治元年(1868年)9月	19歳	箱館戦争に出兵
明治3年(1870年)4月	21歳	大阪陸軍所において土工兵修業
明治3年(1870年)冬	21歳	大阪陸軍所が造築隊となり、その軍曹に就任
明治4年(1871年)	21歳	工兵軍曹に就任し、宇治川架橋に貢献
—	—	大阪城内教導隊に入る
明治4年(1871年)9月15日	21歳	陸軍工兵少尉
明治5年(1872年)3月	22歳	陸軍中尉となり、東京日比谷原の教導団附
明治7年(1874年)3月	25歳	陸軍大尉となり、東京鎮台工兵大隊附
明治9年(1876年)4月	27歳	東京鎮台工兵大隊中隊長
明治10年(1877年)3月	28歳	第二旅団とともに西南の役に出役
明治10年(1877年)3月	28歳	西南の役に出役の功により勲五等隻光旭日章
明治13年(1880年)7月	31歳	陸軍工兵少佐、東京鎮台工兵第一大隊長
明治17年(1884年)	35歳	工兵会議議員
明治17年(1884年)	35歳	勲四等旭日小綬章
明治18年(1885年)	36歳	陸軍士官学校学科副提理
—	—	陸軍工兵中佐
—	—	陸軍士官学校学科提理
明治20年(1887年)	38歳	陸軍幼年学校校長
明治22年(1889年)	40歳	陸地測量部部長心得
—	—	陸軍工兵大佐
明治25年(1892年)	43歳	勲三等瑞宝章
明治27年(1894年)	45歳	明治27～28年戦役で年陸地測量部に合わせて参謀本部職員

明治29年(1896年)	47歳	陸軍少将、陸地測量部部長
—	—	勲三等旭日中綬章、功四級金鷄勲章
明治33年(1900年)	51歳	北清事変の功により勲二等瑞宝章
明治37年(1904年)	55歳	明治37～38年戦役で陸地測量部部長と参謀本部での機務を担当
明治38年(1905年)1月30日	56歳	陸軍中将に陞(のぼ)り、陸地測量部部長および参謀本部を兼務
明治39年(1906年)7月	57歳	予備役
明治40年(1907年)1月	58歳	勲一等旭日大綬章
明治40年(1907年)9月	58歳	男爵
明治44年(1911年)～ 大正14年(1925年)	62～ 76歳	貴族院議員
大正2年(1913年)	64歳	後備役
—	—	阿部家評議員
—	—	教育義会幹事兼委員(東京)
—	—	誠之舎舎長
大正5年(1916年)10月2日	67歳	従三位
大正14年(1925年)12月5日	76歳	没後、正三位に叙される

生い立ちと学業、業績

旧福山藩士・藤井忠治の長男。嘉永3年(1850年)1月生れ。通称は包総、号は樵雪。

藩校誠之館に学ぶ。門田重長に師事する。

明治4年(1871年)陸軍工兵少尉に任ぜられ、陸軍中将に陞(のぼ)る。
その間、士官学校学科提理、陸軍幼年学校校長、陸地測量部部長などに歴補。
明治40年(1907年)男爵。貴族院議員となる。

阿部家評議員、教育義会幹事兼委員(東京)、誠之舎舎長。

門田重長先生50周年勤続祝賀式に(明治40年)来賓として出席。

東京小石川区江戸川町二六の自宅で病氣療養中、大正14年(1925年)12月4日逝去。
正三位追贈。享年76歳。

嗣子・慶三は、明治29年(1896年)12月生れ。
長女ふみこは、明治22年(1889年)11月生れで長崎県士族・西郷勝蔵に嫁す。
女・銚子は、明治32年(1899年)8月生れ。

出典1:『近世後期の福山藩の学問と文芸』、90頁、福山市立福山城博物館編刊、1996年4月6日

出典2:『明治過去帳』、大植四郎編、東京美術刊、昭和46年11月

出典3:『福山学生会雑誌(第39号)』、70頁、福山学生会事務所編刊、大正元年12月18日

出典4:『福山学生会雑誌(第50号)』、38頁、福山学生会事務所編刊、大正6年1月1日

出典5:『福山学生会雑誌(第62号)』、61頁、福山学生会事務所編刊、大正15年7月12日

出典6:『誠之舎－戦争と占領下の一学生寮の記録－』、文集『誠之舎』編集委員会編、誠之舎潺潺会刊、昭和60年6月28日

2005年1月17日更新:経歴●2005年5月11日更新:本文●2006年6月7日更新:タイトル●2007年8月20日更新:経歴・
本文●2007年11月20日更新:経歴・本文・出典●2008年7月28日更新:経歴・本文・出典●2010年5月21日更新:経歴
●2011年1月7日更新:本文・出典●